

農業日和

第40号
発行：修明高校農業クラブ
令和4年9月30日

収穫の秋

九月になり修明高校の水田も黄金色のきれいな景色を演出してくれる時期となりました。収穫の「秋」と呼ばれる九月十月は様々な農作物が収穫時期を迎えます。農業従事者が日頃から丹精込めて栽培した農作物に感謝の心をもって食事を楽しみましょう。

九月は高校生活において最も大きいイベントとも言える「修学旅行」がありました。今年度は京都や大阪を中心に巡りました。京都では、京山の歴史の建造物を見学し、普段の学校生活では触れることができない日本文化を肌で感じることもできました。また、修学旅行ではクラスメイトと寝食を共にする初めての機会となり、クラスメイトと共通理解を図りながら互いを認め合える素晴らしい時間を過ごせたと思います。修学旅行を通して学んだことをこれからの学校生活で生かしていきましょう。

夏休みが明けていよいよ三年生は進路活動が本格化してきた八月後半から九月ですが、農業クラブ活動でも様々な各種大会や活動が行われました。意見発表東北大会や農業鑑定競技大会などが行われ、今月の農業日和では大会の結果や普段の農業クラブ員の様子をお伝えしていきます。



マスコットキャラクター「のうつく」



10月に収穫を迎えます！



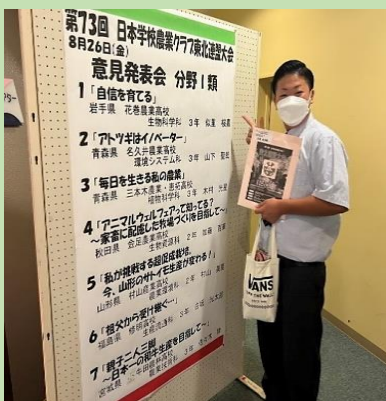
現在の本校水田の様子

食品科学科長からの ありがとう一言

2学期も1カ月が経ち、修学旅行や白藍祭などの準備、就職進学試験対策などで全クラブ員が忙しくも充実した日々を送っています。また、農業クラブ員全員の取り組みとしてコンビニエンスストア「ローソン」とのコラボ企画「わたしのパン」のアンケートを実施し、案を選考しています。みんなで提案したアイデアがローソンの店舗に並ぶのが、今から楽しみです。修明農業クラブが全員で活躍するよい機会になっています。

農業クラブ

意見発表東北大会結果発表！



3-2組白坂光太郎君 東北大会で大健闘！！

8月26日(金)に第73回日本学校農業クラブ東北連盟大会が青森県岩木文化センター中央公民館岩木館にて開催されました。夏休み期間中も毎日のように登校し、文章の推敲や発表の練習など一生懸命に努力する姿が見られました。東北大会では最後の発表者まで誰が最優秀賞を獲得するのか分からない緊迫した緊張感の中行われました。結果は最優秀賞獲得とならず全国大会に進むことは出来ませんが、校内大会から東北大会までの白坂光太郎君の一つの目標に向かって努力する姿は他の生徒の見本となりました。総合実習や農業科目の座学での多くの学びを生かして農業クラブの各種大会に出場した生徒が沢山います。1, 2年生にも無限の可能性があるので積極的に参加して農業クラブを盛り上げてほしいと思います！

農業クラブ

農業鑑定競技全国大会に向けて！

農業鑑定競技会県大会で優秀な成績を収め、10月25日(火)～10月27日(木)に福井県産業会館で開かれる全国大会に堀吉成君(2-2)と松本真依さん(3-3)の2名が出場します。全国大会を決めた2名は放課後の時間や自宅学習時間を増やし、全国大会で活躍するために努力を続けています。農業鑑定競技会は本校で校内大会を開催し、そこで優秀な成績を収めることで県大会さらに全国大会に出場することが出来るため農業クラブ員の全員にチャンスがあります。1, 2年生は来年の校内大会に向けて日頃から農業に関する知識を身につけてほしいと思います。

★堀吉成君にインタビュー★

- Q.全国大会出場を決めた感想を教えてください。
- A.まさか自分が全国大会に出場出来るとは思いませんでした。日頃から勉強した成果を発揮することが出来て良かったです。
- Q.農業鑑定競技の勉強で大変だったことは？
- A.夏休み期間中の勉強時間の確保が大変でしたが、時間を有効活用して取り組んで勉強時間を確保しました。
- Q.農業鑑定競技で嬉しかったことは？
- A.他の学年の生徒と交流できたことです。
- Q.最後に全国大会に向けて意気込みをどうぞ！
- A.全国大会では少しでも良い結果が残せるよう頑張ります！

★松本真依さんにインタビュー！★

- Q.全国大会出場を決めた感想を教えてください。
- A.昨年思うような成績が取れず、悔しい思いをしたが3年生になり知識も増えリベンジすることが出来ました。
- Q.農業鑑定競技の勉強で大変だったことは？
- A.実験器具の名前や薬品名などを覚えることが大変でした。
- Q.農業鑑定競技で嬉しかったことは？
- A.県大会で上位入賞し、全国大会に行けることです。
- Q.最後に全国大会に向けて意気込みをどうぞ！
- A.全力で取り組み上位を取れるように頑張ります！

★農業鑑定競技の問題に挑戦★

2つの写真の病気の名称を答えなさい。



答えは農業科の先生まで！

子牛、修明に誕生！

畜産専攻班の3年2組小林椋聖君からコメントを頂きました！

8月29日(日)に社川農場にいる親牛「よしこ」からメスの子牛が産まれました。名前は「なおこ」になりました。この子牛は生まれた時から白内障で片目が見えない状態です。そのような状態でも頑張っすくすく元気に育っています。現在は白内障の治療のため、毎日目薬を点眼しています。治療の甲斐があり、少しずつ治ってきています。片目しか見えない中でも親牛のミルクを飲んですくすく育っているのでもとてもすごかったです。子牛と一緒にいる期間は子牛セリ出荷までなので、それまで愛情を込めて育てていきたいです！



牛の出産はなかなか経験できないもので産まれたときにはとても感動したのを覚えています。これからの実習を通して元気に気持ちよく生活できるように管理していきたいと思ひます！



3-2畜産専攻生の佐藤宏紀君

第2回コレッジ・ド・修明！

第2回コレッジ・ド・修明が9月2日(金)に社川農場にて行われました。生徒が普段の総合実習で学んでいる知識を生かし、地域の方々に分かりやすく説明する様子が見られました。地域の方々に自分が持つ知識を伝えることで、新たな発見が生まれ、より良い学びに繋がると思ひます。これからは第3回以降のコレッジ・ド・修明でも積極的に取り組んでほしいと思ひます。



吉野家ファームとのコラボ

吉野家ファームさんとの企画で「スマート農業」を実践しようと今回は社川農場でハクサイの定植を行いました。農業就業人口が減少している昨今の問題に対して、農業が進化することで将来の農業を支えることにも繋がります。これからも様々な外部の企業様と連携を取りながら生徒にとって発見と魅力ある実習にしていきたいと思ひます。



生産流通科の実習(草花班)

生産流通科の草花専攻班では現在、シクラメン栽培をメインに行っています。シクラメンは約1年間をかけて播種から出荷まで行います。病気にとても弱いため使用する道具を消毒したり手袋を着用したりするなど他の花に比べて気を遣って作業を行います。現在栽培しているシクラメンは10月下旬に行われる白藍祭で販売する予定となっており、毎年先生方や地域の方々からは大変な人気を誇り販売前から長蛇の列となっています。



食品科学科の実習の取り組み

食品科学科の総合実習で製造している商品について紹介します！修明高校食品科学科では3班の専攻班に分かれています。

農畜産加工班

製菓製パン班

実験乳加工班

この3つの班に分かれて日頃の総合実習に取り組んでいます。今回はその中でも農畜産加工班に焦点を当てて説明していきます！

農畜産加工班は農場長の郷貫先生を中心に取り組んでいます。主な製品は下記のとおりです。
・味噌 ・肉類 ・サンピス ・ジャム類 ・飲料類

現在の主な活動

現在行っているのは、カゴメ様から譲っていただいた加工用トマト苗を、1年3組の農業と環境の授業を通して栽培しました。その収穫したトマトを利用してトマトジュースとトマトジャムを試作しました。

加工用トマトって何??

トマトにはサラダなどに利用される「生食用」とケチャップなどに利用される「加工用」があります。大きな違いとしては品種によりますが、リコピン濃度が生食用に比べて2~3倍とも言われています。さらに特徴として加工用は中身のゼリー部分が少なく皮が固く真っ赤なことも特徴として挙げられます！



次回特集

今回は農業鑑定競技全国大会の結果を中心にお知らせします！さらに今月号で草花専攻班の総合実習の取り組みについて紹介しましたが今回は「野菜専攻班」「製菓製パン班」の取り組みについてご紹介します！次回の農業日和もお楽しみに！修明高校で農業を盛り上げていこう！

今後の予定

(状況により延期・中止等有)

- ・10月4日(火) 小中学校体験学習
- ・10月11(火)~14日(金) 中間考査
- ・10月17日(月) 創立記念日 生徒休業日
- ・10月18日(火) 棚倉幼稚園との交流事業
- ・10月19日(水) 芸術鑑賞教室
- ・10月29日(土)~31日(月) 白藍祭

本号の一作者か



食欲の秋に突入！
バランスの良い食事を心掛け健康で元気に学校生活を送りましょう！